



八戸西ロータリークラブ会報

国際ロータリー第 2830 地区

RI 会長 マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ (ブラジル・サンパウロ)
ガバナー 米谷 恵司 (青森モーニング RC)日時：2025 年 09 月 11 日 (木) 於：八戸プラザホテル 12:30 ~ ▶ SAA 村岡徹弥
▶ ビジター・ゲスト なし ▶ 四つのテスト 工藤良弥 ▶ 撮影 川市由紀子四つのテスト
工藤良弥 会員出席報告
鳥谷部雅子 会員その他の委員会
小笠原美千代 会員

本日のお食事

会長要件 (蛇口和憲 会長)



皆さんこんにちは。まずはプラザホテルのまわし者です。ディナー・ビュッフェを9月と10月で火曜日～木曜日が5000円、金土日祝日が6000円で、プラスで飲み放題が2200円のところ1500円で、ビュッフェなので、いろいろなのが選んで食べられますと思います。

では、ロータリーの話をします。地区要覧で表紙を開くと、ロータリーの目的と4つのテストが載っています。4つのテストの上にあるロータリーの目的ですが、「意義のある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」と書いてあるんですね。ここにある「奉仕の理念」良くわからないです。10年間ロータリアンをやってきてもですね。奉仕の理念を説明できる方はいらっしゃいますか？当てないでくださいっていう雰囲気ですね。奉仕っていうのはなんとなくわかります。理念っていったいなんだろうな。で、早速 Chat-GPT5 に聞いてみました。

そしたら、超我的奉仕だって言ってきました。これ余計にもわからなくなって、超我？超える我って書きます。今度は超我ってなんだっていうことになってしまい、一人だったんで Gemini と会話して、聞いたら、自分を超えて奉仕する。つまり自分は後回しにして周りのことを考えて、周りに対して奉仕をしましょう。自分のことを後にしましょうっていうのが超我的奉仕で、さらにその続きがあって、そうすると回り回って自分に返ってくる。これを超我的奉仕っていうふうに Gemini 君は教えてくれました。これで奉仕の理想についてはちょっと理解できたかなというところです。皆さんに、今朝私は AI と会話をしたので、その紹介をさせていただきます。

次に四つのテスト。その次に書いてあるのは四つのテストなんですけど、「真実かどうか」この考え方は、どう考えればいいか。「真実かどうか」「みんなに公平か」どういうことなんだろう。これを真実であるべきだと、みんなに公平であるべきだと、「べき」っていう言葉で考えるとすごく大変というか、重たい内容になってくるので、これも今度は Chat-GPT5 にちょっと聞いたら、こうありたいという志だというふうに、答えてくれました。AI とても凄いと思いました。

Chat-GPT5 や Gemini を使って、今日の要件を考えて見ました。四つのテストはべきではなく問います。志です。ロータリーの目的の奉仕の理想は超我的の奉仕で、回りまわって自分に返ってきます。すごいですね。さすがです。このあと盛りだくさんなので、私からは以上とさせていただきます。

みなさんも今もスマホで話しかけると答えてくれるので、なにかあったら聞いてみるといいかもしれません。ありがとうございました。

幹事報告 (山口龍介 副幹事)



はい。みなさん、こんにちは。よろしくお願いします。初めての幹事報告をします。1 件目は南グループゴルフコンペの案内来ております。昨年は杉本さんと高橋先生が参加したと思うんですけども、いかがでしょうか？先生も申し込んでましたかね。高橋先生。9月16日が申し込み締め切りとなっておりましたので、島浦さんの方に連絡をお願いできればと思います。

2 件目は、八戸ロータリークラブ創立 70 周年の式典ですね。特別講演会、記念式典、祝賀会、11月15日土曜日ありますので、うちのクラブの方に大勢参加してもらえると思うので、参加しましょう。

講師のピーター・フランクルさんは、私が学生の頃によくテレビに出てた数学者代表芸人の方ですけれども、どういう話になるのかわからないですけれども、眞の国際人を目指すためというテーマですので、ぜひみなさん参加してください。以上です。ありがとうございました。

出席報告 (鳥谷部雅子 会員)

会員総数 34 名 会場出席 16 名 オンライン 3 名 出席率 55.9%



10周年記念式典実行委員 (大島泰雅 実行委員長)

11月8日に10周年の特別講演会と記念式典を開催いたします。まだ2ヶ月、まだ各クラブにご案内を申し上げておりません。来週早々に、ちょっと遅れていますが、ご案内を出させていただきます。細かいところをまだまだ決めなきやならないところがいっぱいあるのですが、まずはご案内を差し上げて、それで集中したいというふうに思っています。

講演会の講師は大神様の力をいただきまして、元検事総長の林真琴さんにおいていただきます。そしてこれはデーター東北新聞に新聞広告を打ちまして、広く市民の方においていただくというような形になります。さらにその後の記念式典は、今のところ県知事様ですか、熊谷市長様、警察署長様、保護司会の方々などにご招待をいたしたいというような形でご案内を進めます。会費は1万2千円ということで、他のクラブに行くクラブはちょっとチープな、ちょっとお安く、手が届きやすいので、ご案内発送したいというふうに思っておりますので、その後につきましてはまた決め事は多々ございますが、皆様にご協力を願いいたいと思います。以上でございます。ありがとうございました。



ニコニコボックス（武部一代 会員）

蛇口 和憲 会員：10周年記念式典まであと58日です。みなさまのご協力をお願いいたします。

工藤威美子 会員：感謝!!

山口 龍介 会員：今日は事務所にて、司法試験受験者3名を迎えて、オータムクラークを開催しています。

東京一極集中で、地方はとてもとても採用難です。

大島 泰雅 会員：みなさん。10周年が近づいてきました。だんだんに気持ちを盛り上げて行きましょうね。

小笠原美千代会員：本日も最良の日でありますように

工藤 良弥 会員：本日もよろしくお願い致します。

鳥谷部雅子 会員：皆様 こんにちは。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

畠山 徳陽 会員：皆さんこんにちは。暑さも少しやわらいできたように感じます。また食欲の秋がやって来てしまいます。自己管理頑張ります。

村岡 徹弥 会員：本日もよろしくお願ひいたします。

森 トシ子 会員：本日もよろしくお願ひします。

川市由紀子 会員：今日も参加できて良かったです。よろしくお願ひします。

小林 周子 会員：このところ朝晩がめっきり涼しくなりました。本日もよろしくお願ひ致します。

藤井美保子 会員：早く秋がこないかなあ？秋の味覚が楽しみです。

小笠原信子 会員：“お米が無事に刈り取りできますように”

松田 郁子 会員：皆様 こんにちは！お久しぶりです。本日も宜しくお願ひ致します。

武部 一代 会員：こんにちは。本日も宜しくお願ひします。



その他の委員会（小笠原美千代 会員）

皆さんこんにちは。この間はお越しいただいて本当にありがとうございました。今日ですね、マチニワの前でらぶらざ亭が出店をしております。焼きそばとかお稲荷や梅漬けとかお味噌とかを出してありますので、大体2時半ぐらいまでやらせていただきますので、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

青少年奉仕委員会（村岡徹弥 青少年奉仕委員長）



皆様こんにちは。青少年奉仕委員会からご報告というかお知らせでした。10月1日、八戸工大一高に行きますということをお話ししたんですけれども、正式に講師の方決まりましたので、ご報告させていただきます。今回の講師は川市会員にお願いするということになりました。

当日10月1日16時からインタークトの例会の方にお邪魔させていただきます。訪問するメンバーは蛇口会長、川市さんで私と藤井副委員長と4人で行ってまいります。終わりましたらご報告させていただきます。

また、皆様へ卓話を願うときがありましたら、何卒ご協力の方よろしくお願ひいたします。以上です。



本日の卓話（山口龍介 公共イメージ・広報委員会）

公共イメージ・広報委員会からお話しします。最初にですけれども、この委員会の一番最初の仕事がロータリーの友のロータリーアットワークの方に活動の報告というか掲載の申請をするということをしまして、刑務所の緑化事業の方をちょっと載せてほしいということでお話をしましたら、今回のロータリーの友の32ページですね。見事に載りまして、よかったですというところです。更生願い刑務所内へ植栽という題名で、八戸西ロータリークラブの活動がそういう形で写真付きで載っております。8月1日に行った八戸三社大祭前夜祭翌朝のみ拾い活動の方も、同じこのロータリーアットワークの方に掲載してほしいということで申請を出しておりましたのも、もしくはくいけば、次のところへ載せてくれるのかもしれないですし、そこはちょっと全国から集めているところなのでわからぬですけれども、活動の都度、ロータリーの友事務所に申請を出していきたいと思っております。

今日の私の方で用意した発表の方に移りますけれども、公共イメージ広報委員会の役割というところを一番最初のところに書いております。これはどの地区的委員会でも言われていると、ある意味そのまま載せているような形になるんですけれども、地域社会におけるロータリークラブの日常を向上させるというところです。この地域の中で活動している以上は、地域の皆さんからの理解を得て、それによって活動がしやすくなるというところもありますので、そういうところを中心に活動して、さらにそれを発信していくということです。クラブの活動を広く数多く発信して、ロータリークラブの価値を伝えると、その発信をどうするかというところについては、メディア及びホームページ、SNSを活用して、情報発信を強化するということです。現時点においては、メディア、新聞であったりとかホームページの発信というところは、もう十分にできているんじゃないかなと思いますので、これを引き続き何か活動した都度、新聞社の方に声掛けをして、新聞に載せてもらうというところは続けていかなければいけないかなと思います。これからのこととして考えるのは、SNSの活用というところですけれども、SNSというと、FacebookとかInstagramとかありますけれども、Facebookに関しては、八戸南グループだと八戸南ロータリークラブと、八戸中央ロータリークラブがFacebookのページを持って情報発信をしております。八戸中央だと、街中の花壇、お花植えたりとかいう活動を、高校生のインター・アクトの子たちと一緒にやっているのをFacebookに載せて発信したりとかしていますけれども、同じような形で西ロータリークラブでも、そういったページを作って発信していくといいんじゃないかなと思っております。2枚目のところにカラーの写真を載せているのは、きれい海ライオンズ。皆さんもコミ拾い活動に参加されたと思うんですけれども、そこで出している上のほうがInstagramで、下のほうがFacebookになります。ここも月に1回は必ずコミ拾い活動をしているので、その活動の様子をそれぞれのInstagramとFacebookに載せているというところです。上のほうのInstagramの写真はちょっと切れていますけれども、6枚あるうちの真ん中の下のところに大島さんと私が写っています。蕪島の清掃活動に参加したときに、このときに八戸西高の生徒と一緒に活動しましたけれども、そのときの写真を載せて情報を発信している。若い人がどういうのを見ると、ちょっと自分も参加したいなというような形になってくるんじゃないかなと思います。上のほうに、メンバー随时募集中、一緒に環境保全のために行動しましょう。お問い合わせはお気軽にメッセージ、もしくは事務局まで、などなど書いてあります。なので、Instagramを見て、それでそこに共感して、自分も一緒に活動したいなという人たちが直接申し込みというか、事務局のほうに問い合わせてくるというようなところも、このきれい海に関しては、そういうやり方をしているかなというところです。ロータリークラブに関しては、さすがにこういうやり方はできないですけれども、敷居を下げるというか、アプローチしやすい状況を作るという意味では、こういったInstagramとかFacebookで情報発信をしていくというところはあってもいいんじゃないかなと思います。

また1枚目のほうに戻りますけれども、こうやっていろいろと情報発信する意味ですけれども、私がロータリークラブに入る前のロータリークラブに対するイメージはどうだったのかなということを思い出すと、なんでもそういうイメージがついたのかはわからないですけれども、なんとなく偉い高齢の男性たちがお昼に集まって高級な昼食を食べながら談笑して、そしてお金を寄付するという、そういう集まりだと私は思っていました。なんでそういうイメージを自分が持ったのかは全くわからないですけれども、いろんな話を周りから聞きながらそういうイメージが出来上がってしまったのかなと思います。実際にやってみると、やっぱりどの各クラブでもすごく地道な地域に目指した活動を、しかもそれをずっと続けていくという、そういうところがわかって、こういうのはぜひともどんどん発信して、そして20代、30代の若い人たちに伝えて、その人たちが自分も参加したい、いつか参加したいならいいと思うんですけれども、今すぐじゃなくてもいつか自分もそういう活動の中に入りたいなというところは持っているようやく、地道な活動にプラスでそれを地道に継続して発信していくというところは重要なんじゃないかなと思っております。あとは第3のところに、発信の際の注意点とか書いてますけれども、この辺りの感覚というのはぜひ皆さんも同じような感覚を持ってもらいたいなというところで書いています。特に投稿内容に注意することとか書いてますけれども、きれい海ライオンズのところで写真を撮って、後でInstagramに載せますけど大丈夫ですかとかいうところで聞いたとき、女の子とかは私ちょっと顔を写したくないですとかいう子もいたりして、そのときにInstagramとかFacebookの方の写真でもちゃんと顔にマスキングかけたりとか、その子はちょっと端の方に写ってもらって、その子が写らないような形で写真撮ったりとか、そういうようなきちんとした工夫というかですね、配慮した上で情報発信をしているというところもありましたので、その辺りも十分大事になってくるので最後の方にちょっと載せておきました。いずれにしても何のためにこういうのをやるのかという目的をしっかり定めないとすぐにやめてしまつて続かないでの、その辺りをここに書いてある通りですね、特に第2の1のところ、何のために情報発信するのか、こういう良好循環を生み出すためにやるんですというところと、投稿頻度を増やすというところは、結局それをやらないと見てもらえない効果が出ないので、やるのは多分かなり負担なんですけれども、担当者なりに決めてやるとなったら、しっかりなってくる必要があるんじゃないかなと思っております。まずは今あくまでも事業計画の段階ではありますけれども、これを実行に移していくたいと思っております。以上です。ありがとうございました。



・会長 蛇口 和憲 例会場 八戸プラザホテル TEL: 0178-44-3123

・幹事 島浦 理 例会日 木曜日(月3回) 第1・3 12:30 ~

・副会長 大島 泰雅 第2 18:30 ~

・事務局 (株)八戸プラザホテル内 〒031-0081 八戸市柏崎1丁目6-6

TEL: 080-2589-8691 MAIL: hachinohewestrc@gmail.com